



板橋稲門会

板橋稲門会会報 第21号
2019年4月25日
発行 板橋稲門会事務局
〒175-0094
板橋区成増1-18-18藤田方
TEL03-3216-4186 FAX03-3975-4717
<http://www.i-toumonkai.jp/>
<http://www.facebook.com/ita.toumon>

▲板橋稲門の集い(2018年度総会)の報告▼



稲門の交流、 タンゴの名曲を満喫!

2018年度定時総会は、5月26日(土)午後6時より、成増アクトホールにて開催した。参加者は、会員と同伴者で50名ご来賓7名、学生3名の総勢60名であった。

【定時総会】

総会の司会は吉田重雄副幹事長。鷹齋慎吾会長による挨拶の後、議事に入った。前年度の事業報告、会計報告、監査報告、今年度の事業計画、予算案について各幹事より説明があり、それぞれ満場一致で承認。なお、今年度の事業計画では、潮カラオケ部会長、山本囀基部会長から、部会長就任の挨拶と今年度の運営方針について発表があり、総会は滞りなく終了した。

【懇親会】

司会は山上侑雄副幹事長。会長挨拶の後、来賓7名の方をご紹介。来賓を代表して早大地域担当の藤本さつき副部長より祝辞をいただいた。続いて当会顧問の下村博文衆議院議員より祝辞をいただき、東京都23区支部の清原保副支部長の音頭で乾杯を行い、懇談に入った。

アトラクション演奏は、オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダによるアルゼンチンタンゴの演奏。学生唯一のタンゴバンドの見事な演奏を大いに楽しんだ。満場の拍手に呼んで、アンコールに名曲「カナロ・エン・パリ」を演奏して終了した。

早稲田大学応援部元副将の木暮美季さんの若さ溢れるリードで校歌を斉唱し、北島寿一副会長の閉会の辞で、午後8時半に終了した。



記 龍田幹雄
(1955年 理工)

〔ご来賓〕
早大・藤本さつき地域担当副部長
東京都23区支部・清原保副支部長
北稲門会・石川英夫会長代行
豊島稲門会・石塚努副会長
練馬稲門会・松本誠副会長
新宿稲門会・小野木之隆副会長兼幹事長
千代田稲門会・南雲靖夫幹事



板橋稲門会 2019年度 イベント予定

身近に住む校友との交流で
早稲田愛を共有しましょう!

■ホームページ
<http://www.i-toumonkai.jp/>
■フェイスブック
<http://www.facebook.com/ita.toumon>

- 定時総会・懇親会 ----- 5月25日(土)
- ゴルフコンペ ----- 5月16日(木) / 10月
- 食べ歩きの会 ----- 7月 / 2月
- 会員懇親会 ----- 納涼会: 8月10日(土) 池袋「東明飯店」 / 新年会: 1月
- ウォーキング ----- 11月頃 / 3月末
- 稲門祭・ホームカミングデイ ----- 10月20日(日)
- スポーツ観戦 ----- 野球: 早慶戦 10月末頃
ラグビー: 早明戦 12月1日(日) 予定
- 工場・施設見学 ----- 東京都議会見学: 時期未定
- 歴史探訪 ----- 足利市探訪(足利学校見学ほか) 時期未定
- 国内旅行 ----- 11月頃(旅行先未定)
- カラオケ部会 ----- 4月(原則3カ月毎に開催)
- BBQ交流会 ----- 5月12日(日)
- 板橋落語会 ----- 6月22日(土)
- 世界遺産セミナー ----- 時期未定
- 囲碁部会 ----- 適時開催
- 音楽鑑賞会 ----- 稲吹会ウィンターコンサート鑑賞 1月 or 2月
- 東京都23区支部大会 ----- 2020年3月15日(日)

食へ歩き会

2018年12月8日(土)伊藤亭

本当に楽しく、「しあわせだ」!!

「伊藤亭」は板橋区役所近くにあり、洋風懐古で知られる人気のお店です。広くはありませんが清潔感にあふれ、綺麗で、テーブルには可愛い花がさりげなく飾られ、女性の目にはとてもセンスの良いお店と感じました。



湯田 明子 (1994年2月 - 2013年2月)

椅子席28席のお店を26名の参加者で貸し切り、女性7名がいたこともあり、初参加にもかかわらず楽しく話題に加わり、和やかな雰囲気になり、新入会員が先輩たちとの距離感を感じずに会話と料理を味わい、楽しむことができました。



食へ歩き会の締めくくりは、飯田顧問からのお言葉、記念撮影、校歌熱唱で終わりました。本当に美味しく楽しい会でした。忘年会を兼ねた「食へ歩き会」です。板橋稲門会に入会して間もない私ですが、いろいろな行事に参加させていただき感じているのは、校友会の絆です。

第20回 2019年2月16日(土)上板橋「和楽」

小原 英樹 2016年アジア太平洋研

当日は時節柄少し寒かったのですが雨も降らず、参加会員各位が次々と会場の上板橋「和楽」に参集されました。残念ながら、夫々都合でお一人の方がお越し頂けなかったのですが、代わりに庭野恒男さん(92)君が当日参加して頂きました。

定刻6時過ぎ、遠田明子(81)文の司会で、鷹背慎吾会長による開会挨拶の後、乾杯の音頭を藤田治幹事務長に執って頂き、和やかに宴会が始まりました。料理は新鮮な旬彩を中心とした和食で彩り良く、個別配膳され参加女性の皆様から大変好評を頂きました。お酒も日本酒やハイボール、焼酎などこのお店自慢の銘柄が提供され、こちらも大変満足頂きました。



音楽鑑賞会

2019年1月14日(月)祝文化会館

稲吹会ウィンターコンサート19 鑑賞報告

藤田 治 1969年 理工

板橋稲門会の「音楽鑑賞会」の一環として、早稲田大学応援部OB・OG吹奏楽団の稲吹会ウィンターコンサートを鑑賞しました。今回が4回目となるウィンターコンサートとのことですが、板橋稲門会としては第2回から音楽鑑賞会として会員に参加を呼び掛けたところ、年々参加者が増え、今回は30名ほどの会員と奥様が参加しました。

なお、今回は初めて第3部として応援部リーダーOBとチアリーダーズOBが友情出演した賑やかなステージが加わりました。応援部リーダーOBは幅広い年代の9名が入れ代わり登場してセンターで力強いパフォーマンスを繰り広げ、またチアリーダーズもこれまた幅広い年代のOG大勢が入れ替わり立ち代わり登場し、大満足のステージでした。



第7回新年懇親会

2019年1月14日(月)祝文化会館

新入会員も大勢参加、賑やかな新年会!

吉田 重雄 1973年 政経

同日の午後、板橋区立文化会館で早稲田大学応援部OB・OG吹奏楽団による稲吹会コンサートが催され、これを音楽鑑賞会として同コンサート終

東京都23区支部大会 2019年3月17日(日) リーガロイヤルホテル東京 早稲田の誇りと決意を新たにしました!



堀 健太郎 (2006年 文)

早稲田大学校友会東京都23区支部大会が開催され、私たち板橋稲門会からは12名が参加しました。私は今回、初めての支部大会に参加させていただきましたが、総勢300名を超える23区稲門会の諸先輩方との交流の中で、早稲田の誇りと決意を新たにすることができた1日でした。

第1部の講演会では、元内閣総理大臣の森喜朗氏が「2019ラグビーワールドカップ・2020東京オリンピック・パラリンピック」を演題にご講演されました。森元総理は容貌こそご年齢を感じさせられる部分はあるものの、お話しぶりは現役時代と変わらずエネルギッシュで、持ち時間1時間のところをたっぷり1時間40分お話しされました。2度のがん闘病にも関わらずノーベル賞受賞で話題になった新薬オプジーボの効果を身をもって体験され、ワールドカップ・オリンピックのその時だけでなく、終了後も見据え持続可能な社会を作っていくことが大切であると語る力強いお姿に胸を打たれました。



「新年会」を行うという、平成として最後の新年は板橋稲門会のダブル「ツター」の行事で始まりました。 鷹背会長は開会の挨拶において会員が増えた喜びを語り、「板橋稲門会には夫々の学部を卒業し色々な仕事に携わって来た人がいます。また、様々な趣味や特技をもっている人がいます。多様な価値観をもち、異なる人生を歩んできた人たちが、同じ早稲田に学び板橋区に住む校友と再び「母校早稲田」の繋がりで新しい縁をつくりませんか」という会員募集DM文を引用して、板橋稲門会の発展を期待する旨を話されました。続いて、当会顧問下村博文氏(元文部科学大臣)の「発声で乾杯を行い、懇談に当たり、」と云々。特筆すべきは出席者が57名で過去最高、内新入会員が11名も参加してくれたこと。新入会員は、赤井ひさ子(57年理工)、西本亮司(61年政経)、西本尚恵(61年文)、長谷川誠(62年法)、遠藤陽子(55年政経)、堀健太郎(18文)、遠田明子(18文)、藤原雅也(18文)、藤原雅也(18文)の11名、初めて新年会に参加する新入会員は、鷹背会長、飯田名誉顧問、下村顧問、当会役員と同じテーブルに座っていたが、懇談の場を設けました。



最後に、毎回、車の送り迎えをして頂いている乗客さま、坪井さまに感謝します。また50代の現役で仕事を抱えながら、毎回お一人でお金の設定、プレーヤーの組み合せ、全員への商品の手配など幹事役を一人で務めて下さっている田嶋さまには大変感謝しつつ、退役者として何か現役の方の負担を分担せねばならないのも心苦しく感じています。参加者の皆さまありがとうございます。

国内旅行…金沢旅行

金沢旅行「金沢百万石まつり」行列を見学



6月1日(金)～6月3日(日)にかけて、2泊3日で行った金沢旅行を行いました。板橋区にはかつて加賀藩の下屋敷があったことから、現在も区内に加賀「金沢」という町名や学校名が残ります。板橋区と金沢市は友好交流都市協定を締結しています。今回の旅行は板橋区と縁が深い金沢を訪れ、「金沢百万石まつり」を観て、温泉と料理を楽しもうと当会の吉田幹事が企画してくれました。

「金沢百万石まつり」の庄巻は、藩祖前田利家の金沢城入城行列で、校友会石川県支部の越沢様のご尽力で確保された見物スポットです。白馬に跨って勇壮と行列の先頭に立つのは前田利家公に扮した俳優の高橋克典さん。馬のさばりも含めて見事でした。利家公正室であるお松の方には女優の羽田美智子さんが興に乗ってお付きの方と共に華やかに手をふり鑑賞を付けた待一行や加賀獅子舞、鷹の梯子舞などが続き、華やかな時代絵巻の目の前で観ているようでした。その後は各団体のマーチングバンドによる音楽パレードなどが次々と続き、見物スポットで観ていた私達も熱気に包まれました。

泊まりは金沢の奥座敷といわれる開場300年の湯涌温泉「湯の出」に連泊し、温泉と地元山海料理を堪能しました。また、板橋のいっぴん(逸品)二輪草(日本酒)を受託生産している老舗酒蔵「福光屋」(加賀藩)で有名を訪問酒つくりの工程の説明を受け、試飲もさせて頂きました。金沢の誇る金箔工芸、東茶屋街の散策、金沢料理など、3日間の満了する楽しい旅でした。

参加者：飯田金廣、鷹野慎吾、鷹野慧子、潮統太郎、藤田治、中村恵一郎、朝倉久男、朝倉好子、石原利子、吉田重雄、吉田恵子

田舎部会

2018年度より「囲碁部会」と名称を変更し、山本康夫部長のものと6月16日(土)・9月15日(土)・10月20日(土)の3回、板橋稲門サロンの会議室にて開催、対局しました。参加者はいずれも4名と常連のメンバーでしたが、対局後には学生時代囲碁部で活躍された高段者の市川健さん、日本棋院にも通われている山本康夫部長から対局を振り返り解説していただき、少しずつレベルが上がってきています。しかし、新たに勧誘した会員の参加は、残念ながら日程があわず実現しませんでした。

2019年度は、何とか参加が増えるよう呼びかけを継続して行きたいと思います。お誘いを受けている近隣稲門への参加も検討してまいります。

参加者：潮渡辺寛、鷹野慎吾、藤田治、山本康夫、市川健、中妻穂太

第6回納涼会

2018年8月4日(土)・池袋・東明飯店 吉田重雄(1973年 政経)

猛暑・酷暑・極暑といわれる暑さが続く中、池袋の東明飯店で第7回納涼会が開かれました。当日は、いたばし花火大会と日程が重なったため、参加人数は昨年より減少しましたが、熱中症などにも気を配り、元氣な会員が30名集まり、台湾料理を食しながら女性サックス四重奏を聴き大いに盛り上がりしました。

今年の納涼会は開催場所を探して苦労しました。昨年の納涼会で「サックス演奏が良かったね」という会員のリクエストもあり、2月に昨年納涼会を開催したイタリアンレストランに予約をお願いしたところ、マンション住民からサックスの音量が大きいというクレームがあったという理由で納涼会の開催を断られました。そこで私がヤマハ音楽教室の仲間とサックスを吹いたことがある東明飯店に第7回納涼会を開催することになりました。

鷹野会長は挨拶と乾杯の後、新入会員の遠田明子さんと中野稲門会から参加してくれた笹田裕さんを紹介し、宴が始まりました。10名ずつ座る3テーブルに台湾料理が並び、名物の焼売と台湾中華に舌鼓をうち、ビール、紹興酒等は飲み放題。30分も経つとテーブル回り、酒を注ぎ交わす会員同士の会話は弾みました。

そしてプロムカルテットの演奏が始まりました。テレビ「笑点」のスタンダードナンバー「A列車で行こう」、石川さゆりの「スイスイ」がお好きでしょ、そして坂本九メロディと演奏が続きました。手拍子でリズムにのび、そして、口ずさむ人もいて音楽が会場全体を和ませるようになっています。そしてプロムカルテットのメンバーと参加者全員で集合写真を撮りました。

最後の締めは元応援部副将の木暮美季さんがリーダーを務め、参加者全員が声高らかに「都の西北を歌い、今年の納涼会を終えることができ、ありがとうございました。参加者皆様の協力に感謝申し上げます。」



藤田 治 (1969年 理工)

理由で納涼会の開催を断られました。そこで私がヤマハ音楽教室の仲間とサックスを吹いたことがある東明飯店に第7回納涼会を開催することになりました。

鷹野会長は挨拶と乾杯の後、新入会員の遠田明子さんと中野稲門会から参加してくれた笹田裕さんを紹介し、宴が始まりました。10名ずつ座る3テーブルに台湾料理が並び、名物の焼売と台湾中華に舌鼓をうち、ビール、紹興酒等は飲み放題。30分も経つとテーブル回り、酒を注ぎ交わす会員同士の会話は弾みました。

そしてプロムカルテットの演奏が始まりました。テレビ「笑点」のスタンダードナンバー「A列車で行こう」、石川さゆりの「スイスイ」がお好きでしょ、そして坂本九メロディと演奏が続きました。手拍子でリズムにのび、そして、口ずさむ人もいて音楽が会場全体を和ませるようになっています。そしてプロムカルテットのメンバーと参加者全員で集合写真を撮りました。

最後の締めは元応援部副将の木暮美季さんがリーダーを務め、参加者全員が声高らかに「都の西北を歌い、今年の納涼会を終えることができ、ありがとうございました。参加者皆様の協力に感謝申し上げます。」

映像とお話しに大満足！

2018年9月15日(土)16時～17時半 板橋稲門サロン(練サナルク会議室) 藤田 治 (1969年 理工)

教養講座「世界遺産セミナー」を開催し、16名が参加しました。講師は元常任幹事NPO世界遺産アカデミーにて世界遺産検定講師の朝倉久男氏(昭47年・政経卒) 会場都合で16名が定員でしたがプロジェクトも活用し、各地の魅力あふれる映像を見ながら、聴講しました。

セミナーの内容は①世界遺産とは②世界遺産に登録されるまで③日本の世界遺産④文化遺産⑤自然遺産⑥外国の世界遺産の紹介(スペイン・マドリードなど)⑦世界遺産の課題と多岐にわたる、日本満了し、また大変勉強のための食卓という店で会食受講したセミナーの感想や講師への質問など、ワインも飲みながら和気あいあいと盛り上がりしました。

野球 早慶戦観戦

2018年10月27日(土)神宮球場

今年も早慶戦の季節がやって来た。東京六大学野球秋季リーグ戦は早慶戦を残した段階で、早稲田は慶應法政に優勝のチャンスがあった。早稲田は慶應に2連勝したら優勝なので、このこれで絶対に負けられない。第1戦の早稲田先発は、ドラフトでワテから3位で指名された主将小島投手。防壁率はリーグ1位の絶対的エースである。ところが立ち上がりから制球が定まらず、毎回のようにランナーを背負い苦しんでいる。4回と5回、それぞれで要所を抑えてきたが、6回に押し出しの四球とレフト前ヒットで2点を奪われた。7回にも1点を追加され、3点のリードの中、慶應の投手の緩急を取った。投手に翻弄され、なかなか点が取れない。最終的に1点を奪取。以下7名が力強い応援をしたが、結局1対3で敗れてしまい、早稲田の優勝は無くなった。早稲田の安打は8本。これが勝負の分水嶺だった。たまたま、試合終了後は祝勝会ならぬ残念会を開き、全員が親睦を深めた。なお、その後は早稲田が慶應に2連勝。慶應の胴上げを阻止して最後に意地を見せた。来季に繋がるかどうか、期待が持たれる。小宮山新監督の下、早稲田がどれだけ躍進するかも期待が持たれる。

参加者：飯田金廣、藤田治、櫻野久、山上侑雄、池田正司、小原英樹、遠田明子



池田 正司 (1996年 法)

第6回工場見学会

2018年11月15日(木)

秋晴れにも恵まれて、予約を取るのも困難な人気の「崎陽軒工場」を訪ね、横浜市都筑区にある崎陽軒工場は、建物入り口右手に列車に見立てた土産売り場があり見学案内の女性の誘導のもと、先ずは土産売場の説明が始まりました。1928(S3)年にシウマイを発売開始、その後、揺れる列車でも一口で食べられるというシウマイ弁当が生まれたのは1954(S29)年で、当時は100円ちやみ現在に、税込み860円だっただけである。冷めてもいい、お弁当の秘訣は数層あり、御飯はふくらもちモチモチ感、シウマイは手間かけて蒸す等、細部へのこだわりを感じる。シウマイが出来た後、オートメーション化されています。現在ではお馴染みの「真流ポック」はシウマイをよりおいしい状態で持ちこたせるために崎陽軒が最初に採用したもので、崎陽軒のシウマイといえば、忘れちゃならないのが醬油入れの「ひょうちゃん」です。発売当時は小さなガラス瓶でしたが、戦後にひょうちゃん型のお皿になった。そのひょうちゃんが発売60周年記念の「選層ひょうちゃん」までずらりと展示され、その数の多さにビックリ。試食タイムでは、大きい特選シウマイとお馴染みのシウマイ、お菓子を各1個ずつ頂き、出来立ての熱々シウマイの美味しさにあっという間に平らげてしまいました。90分の工場見学を終え、次の目的地となる横浜中華街へGO。予約していた店では先ずは「乾杯」。注文した飲茶が次々運ばれ、小籠包、餃子、春巻きとお馴染みのものから大餅など珍しいものまでお目一杯、頂きまわりました。紹興酒は甘みと風味が飲茶に合い、あっという間に2本目空に、食べて、呑んで、大いに語り、シニアから若手まで和気満々と楽しい食事会となりました。帰りは、中華街発の東急「三田線」の直通列車で、ほろ酔い気分を味わって、藤田朝倉久男、鈴木健司(足利市)ら参加、山上都夫、松田康将、小原英樹、椎名ひろみ 以上10名



椎名ひろみ (2018年 スポーツ科学)

ラグビー 早明戦観戦

2018年12月2日(日)秩父宮ラグビー場

12月第1日曜日は伝統の一戦、ラグビー早明戦の日。しかし今年の早明戦は特別な意味合いを持っている。この試合に早稲田が勝てば関東大学対抗戦Aグループの優勝(帝京と勝敗数で並び同時優勝)が決まる。また、今年も早稲田ラグビー部創部100周年であり、記念すべき節目の年には是非とも優勝の花を添えたい。しかし今年の明治は強い。絶対王者の帝京を3度も倒している。この絶対負けられない試合に9名の秩父宮ラグビー場試合前我々も立ち上がり、高らかに校歌を斉唱した。明治の応援が圧倒的に多かったが、気持ちでは負けていない。自ずと応援にも力が入る。

さて試合開始。出だしから早稲田は好調。テンポの良い攻撃で開始3分後に先制のトライを決めた。明治も追い上げるが、早稲田が17、14と3点をリードして前半終了。早稲田は帝京を破った明治の重量戦車フォワードに苦戦すると予想されていたが、前半こそ明治にスクラムで圧倒されたが、後半は早稲田が逆にスクラムを押し返す。その後も早稲田は得意の早いパス回しで早稲田が18点リードし、しかしこころ明治が意地を見せる。2トライを連続で決められ、4点差に迫られたが、31-27で早稲田が逃げ切り、サイド、早稲田は8年ぶりに優勝を決めた。実に嬉しい。その後はイチヨウ並木を通して祝勝会場に向かい、勝利の美酒に酔いしれた。来年は日本でラグビーワールドカップが開催される。日本代表が注目されているが、大学ラグビーも最高に面白い。平成最後の大学選手権で名前早稲田の完全復活に大いに期待したい。

参加者：飯田金廣、藤田治、吉田重雄、櫻野久、山上侑雄、池田正司、安達雅子、遠田明子



池田 正司 (1996年 法)

ウオーキングの会

石神井川桜並木を歩く

2018年4月1日(日)
素晴らしい快晴の下、第26回ウオーキングに参加しました。今年は「板橋十景」にも選ばれている「石神井川桜並木」を歩きます。参加者は総勢21名、お隣の北橋門会からゲスト2名も参加されており期待の高さが伺われます。9時に中板橋駅に集合し、王子を目指します。今年は例年より暖かい日が多かったため桜は既に散り始めていますが、逆に桜吹雪の中を歩くことになるので、ワクワクしています。中板橋駅を出発し、30分程度で最初の目的地である板橋区の名所になった「板橋川」に着きました。全員で記念撮影です。由緒の旗を掲げ、欄干を背に笑顔で撮影しました。この辺りから同じようにウオーキングされる方が多くなってきました。1時間程度で次の目的地の帝京病院に到着しました。お隣の帝京大学医学部キャンパス内にはコンビニが整備されています。ここで飲み物を購入し、みなでしばしばの休憩です。この辺りの桜も見事でした。ここから一路王子を目指します。今回のウオーキングでは到着するまで歩いたため、なんと11時過ぎには王子の音無親水公園に到着しました。予想外に早く到着です。ここで本日2回目の記念撮影です。皆さん、王子まで歩いた達成感と程よい疲れで再びの笑顔です。



山上 郁雄 (1984年 理工)

旧中山道を歩く、日本橋・板橋

2018年11月10日(土)
晴天下、総勢14名十途中参加2名、日本橋(起点)から板橋(中山道六十九次の最初の宿場)まで、旧中山道約10キロを約4時間かけて歩きました。



高河原 邦彦 (1970年 法)

日本橋については「にっぽんばし」ではなく「ほんばし」と読むこと、橋柱の「日本橋」という銘板は徳川慶喜が揮毫したこと、親柱の獅子と東京市章、中央柱の翼をつけた麒麟、橋の真ん中に埋め込まれた道路元標、欄干にある焼夷弾跡、魚河岸が築地に転移するまで約300年この地であったこと、等々の解説は、初耳の人も多かったようです。

三越と日本橋を渡る老舗「山本海苔」に「べん」木屋などを通り、日本橋に残り神田明神に行き休憩。本郷3丁目では本郷もかねやすまでは江戸の内」という川柳が残されています。最後は東大赤門(元加賀前田家土蔵)へ。赤門は御守殿門として建てられ、御守殿は徳川将軍家から嫁いだ姫君の敬称で、丹塗りだったため赤色という話でした。その後、東洋大、千石、徳川慶喜墓、鷹野屋敷跡、菓鴨とけ抜き地蔵、庚申塚で屋敷休憩。板橋駅、近藤勇墓、平尾宿本陣跡、板橋宿本陣跡、東光寺(宇喜多秀家墓)、高野長英潜伏地跡、など歩く折々、吉田幹事から随時説明を受けながら、江戸時代に思いを馳せる「時を過す」ことが出来ました。

またウオーキングとしては、ゆったりとしたペースを進みましたので、高齢者・高齢者を中心とした一行でしたが、お陰様で板橋の橋の歩き散ることもなく心地良い疲れを感じながら、無事家路に着かれたことと思います。今回担当して頂いた吉田幹事、昼食休憩に当たって格別のご配慮を賜った斎藤夫妻に、改めて御礼申し上げます。

参加者：潮鏡太郎、鷹野慎吾、鷹野慧子、藤田治、筑紫恒男、高河原邦彦、高河原啓子、吉田重雄、石原和子、斎藤友二、斎藤孝子、山上郁雄、山上愛子、池田正司、飯田金廣、吉田恵子

カラオケ部会

第1回板橋稲門会カラオケ部会の宴

2018年4月20日(金)スタジオ2.3
まさに時は春、午後5時から、記念すべき「第1回板橋稲門会カラオケ部会」が開催されました。参加者諸氏は「スタジオ2.3」に着いた時には、既にほとんどの方が現地に参集されていました。



小原英樹 (2019年 大経) アジア太平洋洋研

暑さにもめげない元気な会員11名が熱唱

2018年7月21日(土)スタジオ2.3
「80年以上生きていくけど、こんな暑さは経験したことがない」という、半端ない暑さにもめげない元気な会員11名が大山の「スタジオ2.3」に集まり、午後5時から第2回カラオケ部会が行われました。



吉田 重雄 (1943年 政経)

参加者は、関精一(32商)、岡田豊(32商)、飯田金廣(33文)、潮鏡太郎(35商)、清水勇次(35教育)、坂井俊(36政経)、鷹野慎吾(37商)、藤田治(44理工)、山本康夫(46政経)、吉田重雄(48政経)、遠田明子(日6文)。

元気な参加者の平均年齢は、女性の遠田さんを除くと78歳! 80歳以上の方が6名もいます。好きな歌、得意な歌を存分に歌って楽しんで、校友とコミュニケーションを図ることが元気の源になっていると確信します。

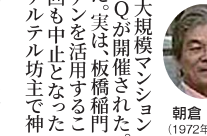
飯田さんは肩を怪我され、三角巾で右腕をつつての参加でしたが、歌うときは三角巾をとってマイクを持ち、十八番の「男の背中を情感たふぶりに歌いました。今回初めて岡田さんが「長崎の鐘」を歌ったときの透き通ったその声は、藤山一郎に負けない美しい響きで皆が感心して聞き入りました。また、唯一女性の遠田さんと唯一60歳代で男性参加者中最も若い吉田の二人が「銀座の恋の物語」を歌い、「若い二人が」という歌詞を強調し、他の参加者に当てつけるように歌いました。参加者全員が次々と歌い、あっと言う間の2時間でした。最後は全員が肩を組み、校歌を熱唱し、記念撮影をしてお開きになりました。

二次会は、8名がバドミントン場所を移し、イタリアンの食事を楽しみながら、1時間半ほど高齢者懇談会を行い、8時半に解散しました。歌が上手い! 下手は関係ありません。貴方も、カラオケ部会に来て、コミュニケーションを図る輪

BBQ(バーベキュー)交流会

待望のバーベキュー交流会、開催

2018年5月12日(金)
板橋区内に10万㎡(約3万坪)の敷地を有する都内屈指の大規模マンション「サンシティ」のバーベキューガーデンにて板橋稲門会のBBQが開催されました。当日は五月晴れの晴天に恵まれ、総勢26名もの参加が集った。実は、板橋稲門会BBQは幹事朝倉が自宅マンションのバーベキューガーデンを活用することを提案し、昨年計画されたのが生憎の台風もあり2回も中止となった経緯がある。そんな中、今回は天候は心配の種であったが、テルテル坊主で神頼みしてくれた会員もおり、当日は見事に五月晴れ。



朝倉 久男 (1972年 政経)

板橋稲門会ゴルフ

優勝・古谷芳子氏

2018年5月24日(木)JGやさと石岡ゴルフ倶楽部
第36回と連続優勝しました古谷和正の家内です。ハンデの皆様が今回優勝させて頂きました。ご参加の皆様ありがとうございました。



古谷 芳子 (1975年 理工卒の奥様)

★第40回ゴルフコンペ 2018年10月25日(木) JGMおせごゴルフクラブ(旧称：埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部おせごコース)
今回は第40回という記念大会であり、同じ会場今回は前年の大雨とは打って変わって快晴の下、大変気持ちよくプレーすることが出来ました。ようやく、大きなハンデを頂いておりました。5、6月の方々の参加が少なかつた方々が健康維持のために、一歩踏み出された方もおられますが、スコアは気にせず、気軽に参加して頂いて、新風を吹き込み、益々盛況にしたいものです。

★優勝・高河原邦彦氏(1971年 法)
今回は第40回という記念大会であり、同じ会場今回は前年の大雨とは打って変わって快晴の下、大変気持ちよくプレーすることが出来ました。ようやく、大きなハンデを頂いておりました。5、6月の方々の参加が少なかつた方々が健康維持のために、一歩踏み出された方もおられますが、スコアは気にせず、気軽に参加して頂いて、新風を吹き込み、益々盛況にしたいものです。